



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

---

2014年3月25日

## 第55回おきぎん企業動向調査 (2014年1~3月期)調査結果

---

**現場主義とお客様からの信頼**

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## 第55回おきぎん企業動向調査(2014年1～3月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2014年4～6月期見通し)～

### I. はじめに

#### 1. 調査の結果

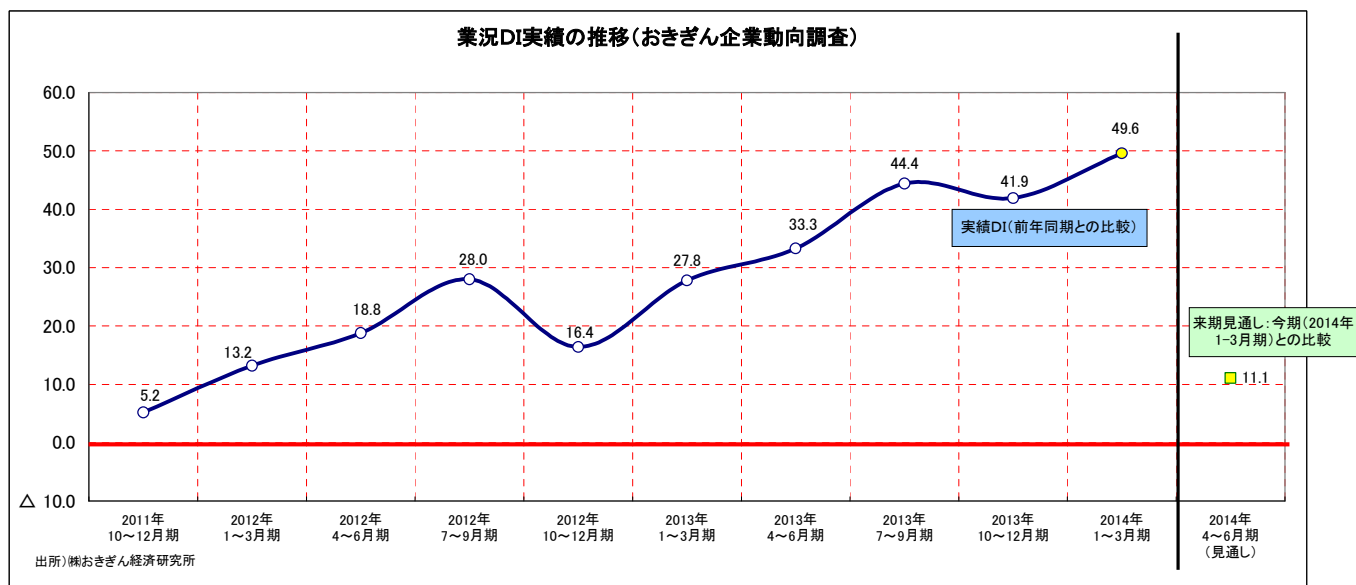
業況DIの推移

期間・結果	2013年				2014年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種計</b>	<b>27.8</b>	<b>33.3</b>	<b>44.4</b>	<b>41.9</b>	<b>49.6</b>	<b>11.1</b>
製造業	20.0	28.3	40.0	43.5	52.6	18.4
土木業	59.1	31.6	41.7	30.0	45.0	15.8
建築業	33.3	39.5	50.0	61.6	67.4	10.5
卸売業	22.1	27.7	39.8	38.1	35.3	15.5
小売業	12.5	36.1	38.5	27.3	41.7	△ 6.9
情報通信サービス業	40.0	55.6	36.4	22.2	60.0	△ 10.0
医療・福祉	14.8	22.7	36.7	31.0	22.2	14.8
その他サービス業(宿泊・飲食等)	38.2	35.1	61.4	42.2	53.8	23.5
その他(不動産、運輸等)	35.6	33.8	46.9	48.6	55.1	8.8

2014年1～3月期調査の業況DIは49.6(前年同期比)となりました。

業種別で見ると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】、【その他】の全ての業種で「業況改善の動き」がみられます。

2014年4～6月期の業況見通しDIについては11.1となり、多くの業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



**2. 調査の概要:** 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2014年2月下旬～3月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 457社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価  
⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用  
⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

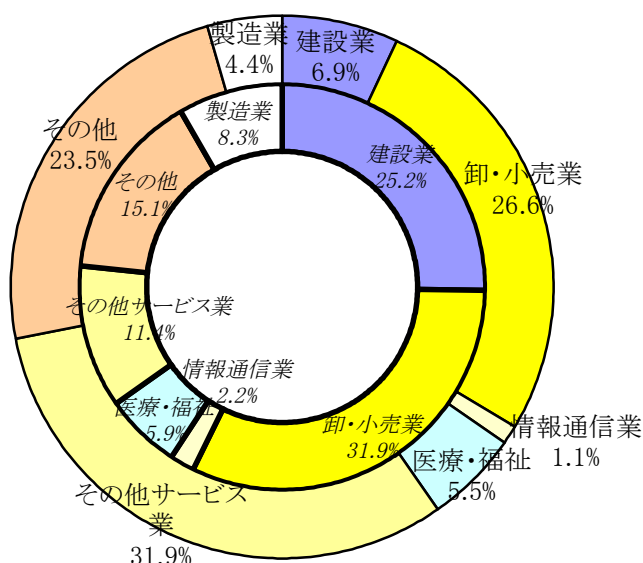
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、**DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)**といった具合にご覧いただけます。

**3. 調査対象企業の業種・所在地構成**

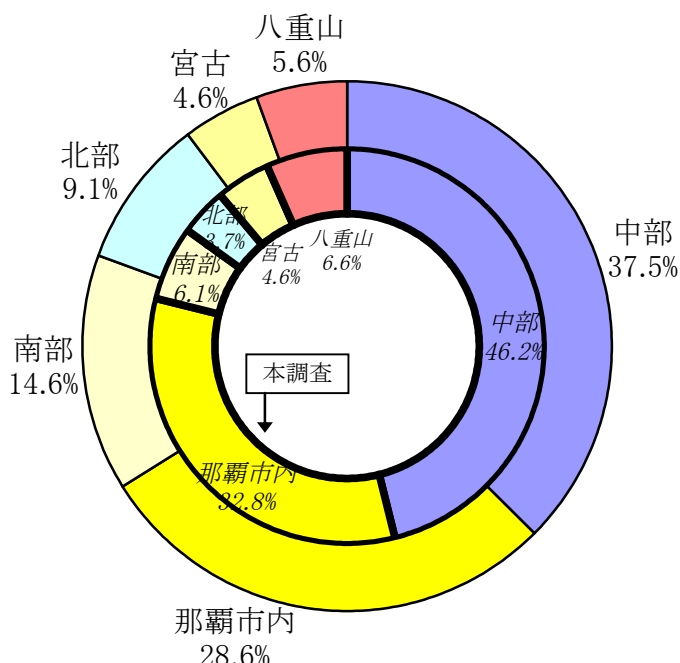
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2009年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、  
本調査の事業所所在地構成(内円)



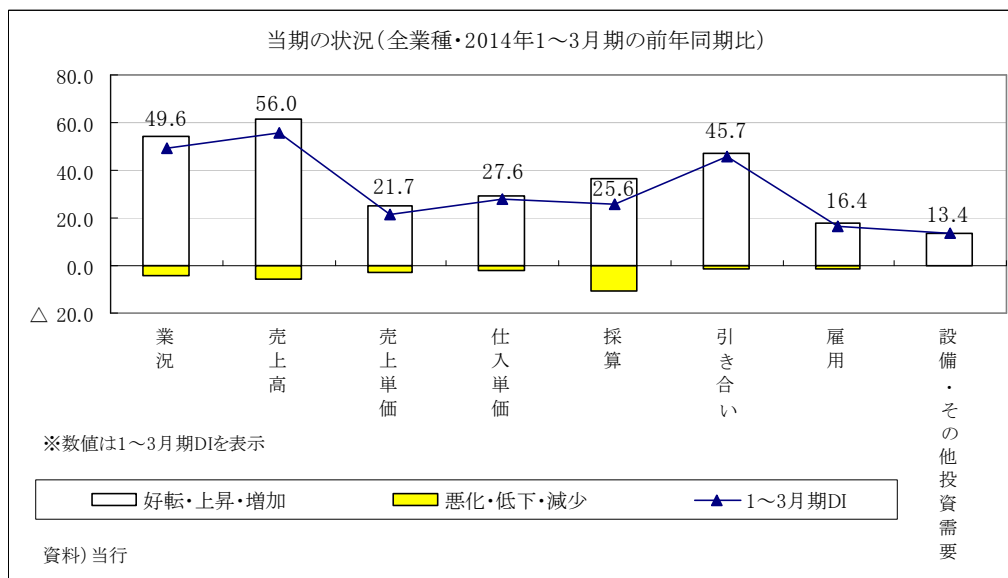
資料)総務省、当行

## II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

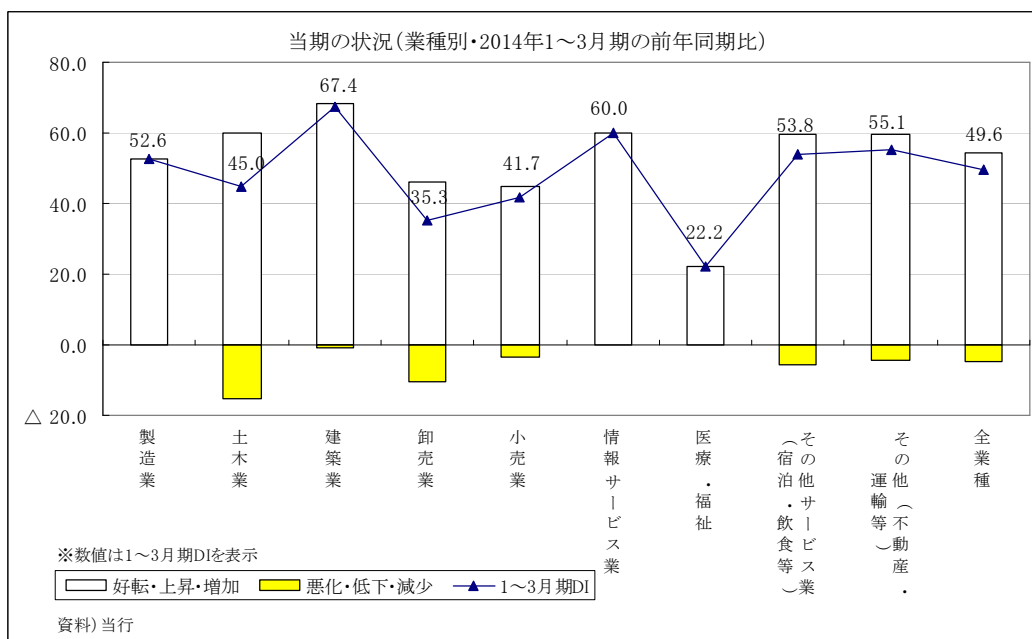
#### a. ①当期の状況(項目別・2014年1～3月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、前年同期比では「消費税増税前の駆け込み需要」や「全般的な県内景況の回復」の影響などにより好調に推移しています。全体では売上高(56.0)や引き合い(45.7)が増加しており、全ての項目で改善しています。全体として**業況(49.6)改善の動き**がみられます。



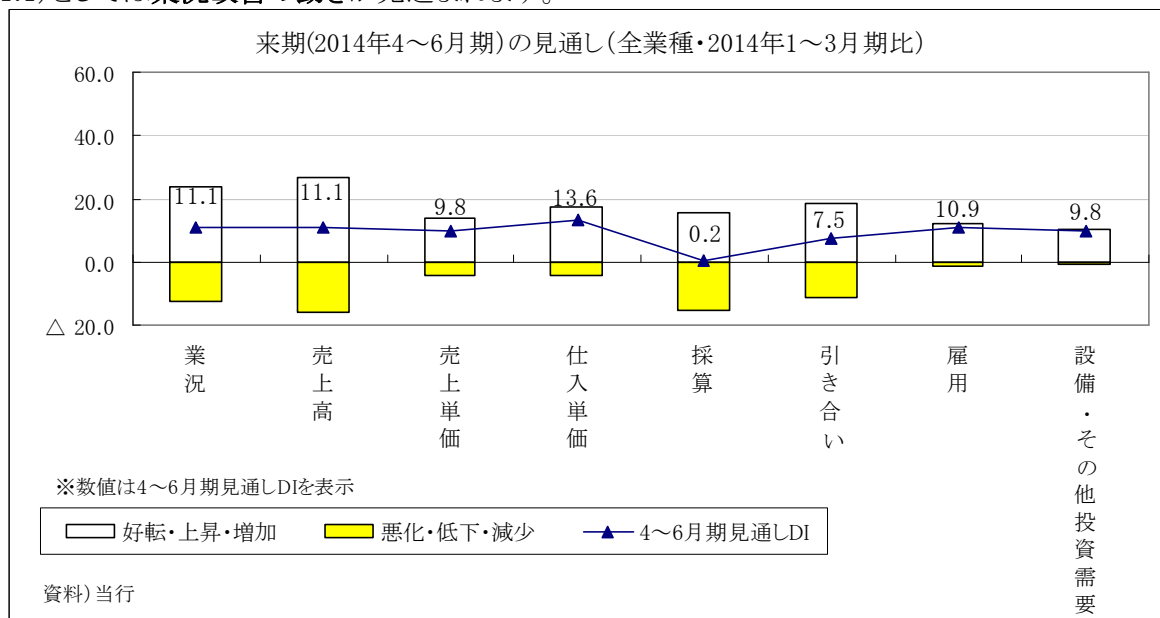
#### a. ②当期の状況(業種別・2014年1～3月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、今期は公共工事の受注増加に加え、消費税増税前の駆け込み需要などにより民間工事受注も増加していることから【**建築業**】(67.4)や【**製造業**】(52.6)、【**その他**】(55.1)などが大幅に改善しています。また、プロ野球キャンプ効果などによる観光需要増加を背景に、【**その他サービス業**】(53.8)も改善しており、全ての業種において**業況改善の動き**となりました。



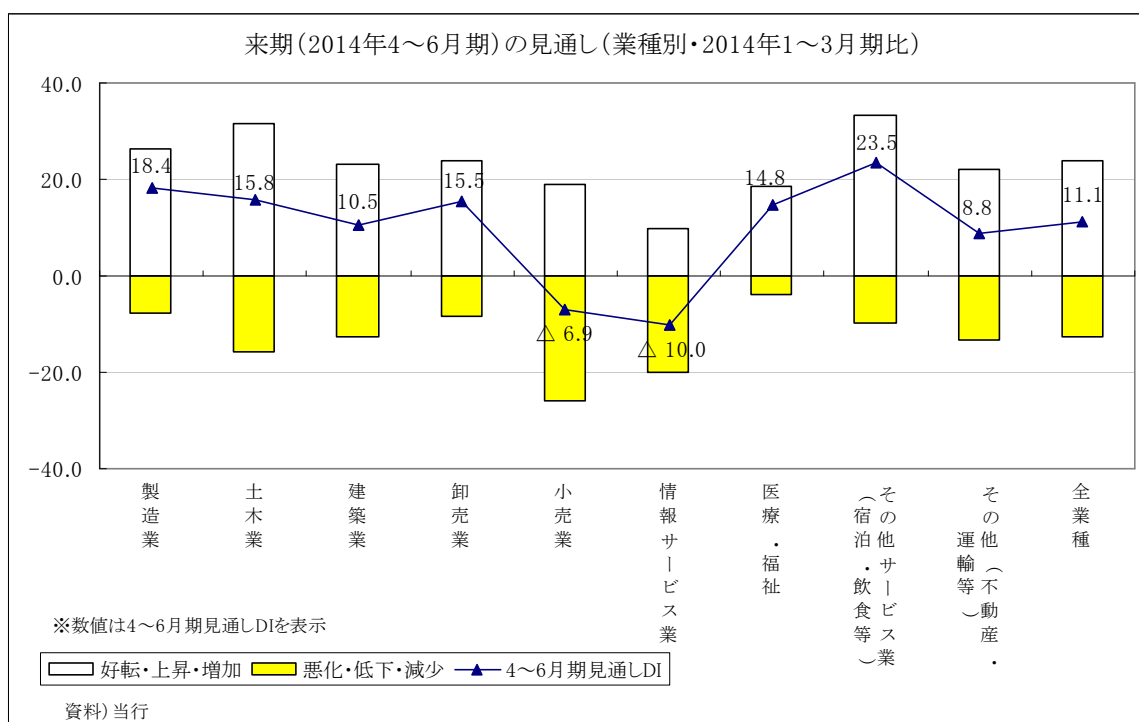
b.①来期の見通し(項目別・2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

来期(2014年4～6月期)の見通しDIを項目別でみると、引続き公共工事の受注増加や観光需要の増加などにより堅調に推移することが予想されます。「消費税増税前の駆け込み需要の反動」や「資材価格高騰」などにより売上高減少、採算悪化などを懸念する声もみられますが、全体(業況:11.1)としては**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

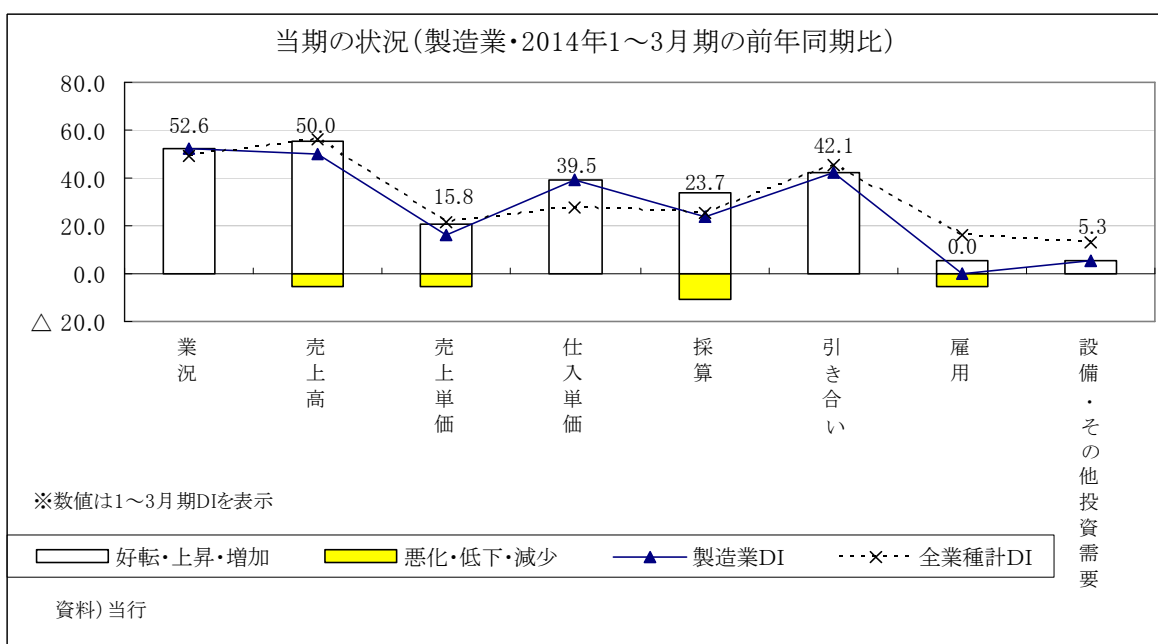
来期(2014年4～6月期)の見通しDIを業種別でみると、消費税増税前の駆け込み需要の反動などにより【小売業】(△6.9)、【情報サービス業】(△10.0)で業況悪化が見込まれます。一方、【その他サービス業】(23.5)、【製造業】(18.4)、【土木業】(15.8)、【卸売業】(15.5)、【医療・福祉】(14.8)などが全体DIを上回る業況となり、多くの業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



## 2. 製造業

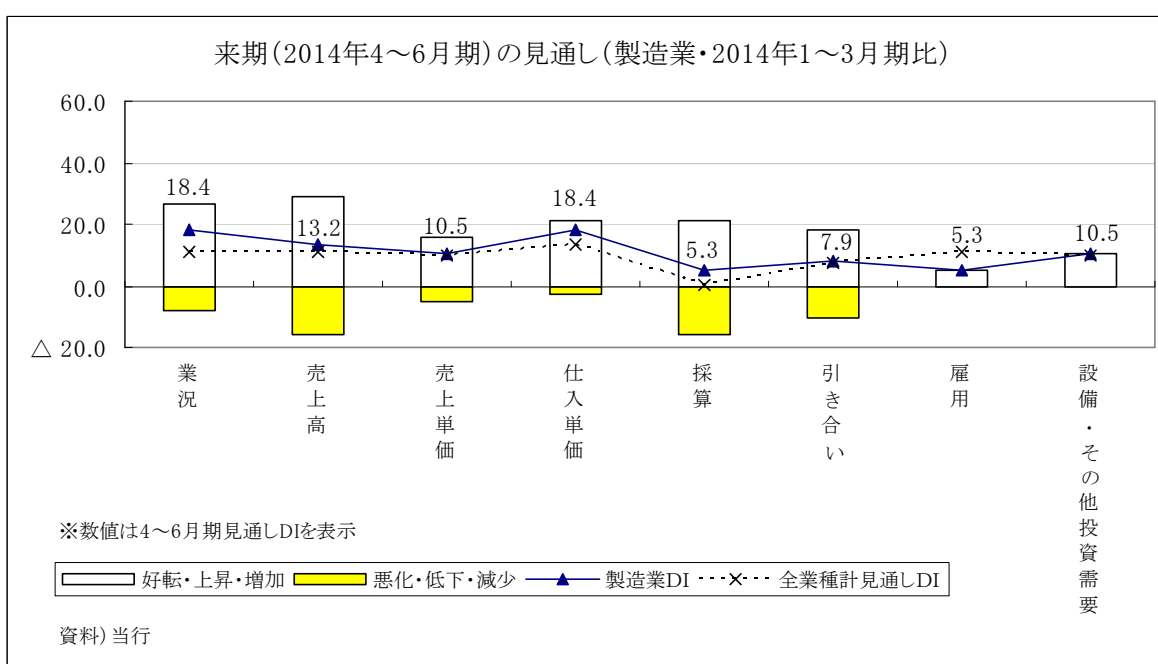
### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、公共・民間工事の増加により、生コン製造業などにおいて売上高や引き合いが増加しており、採算も改善しています。また、食品製造業においては、スーパーやコンビニエンスストアの店舗数増加やPB商品取扱増加などにより、引き合いの強さもみられます。製造業全体としては業況改善の動きがみられます。



### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

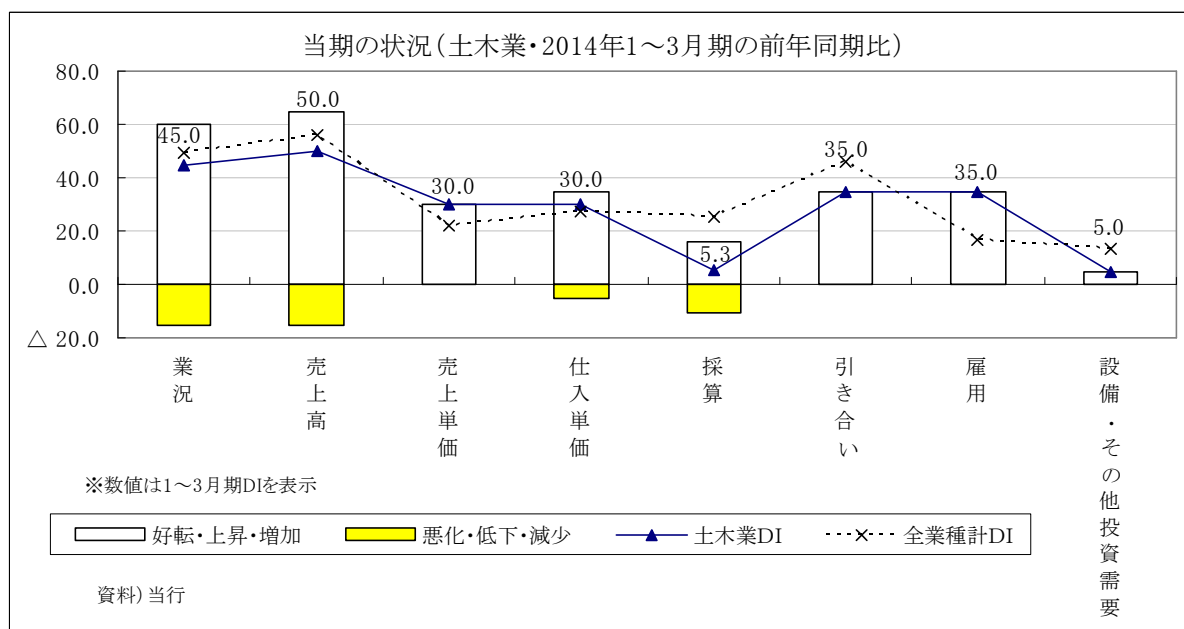
来期の見通し【製造業】DI をみると、那覇空港第2滑走路増設工事などによりセメント製造業において引き合いの強さが見込まれます。また、ゴールデンウィーク等の季節的要因により観光客の増加が期待されることから、琉球ガラス製造業などにおいて売上高の増加が期待されます。製造業全体として業況改善の動きがみられます。



### 3. 土木業

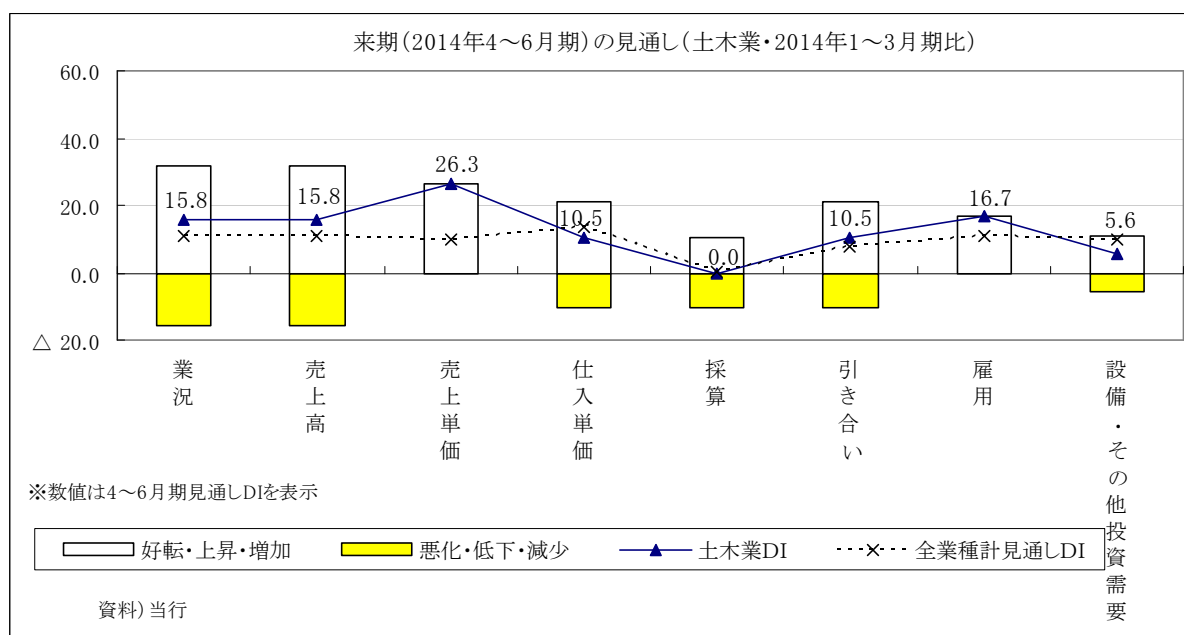
#### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事の受注が増加していることなどから、売上高や引き合いが改善しているほか、雇用も増加しています。しかし、一部では下請け業者の人件費上昇などにより採算が悪化している事業者もみられます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



#### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

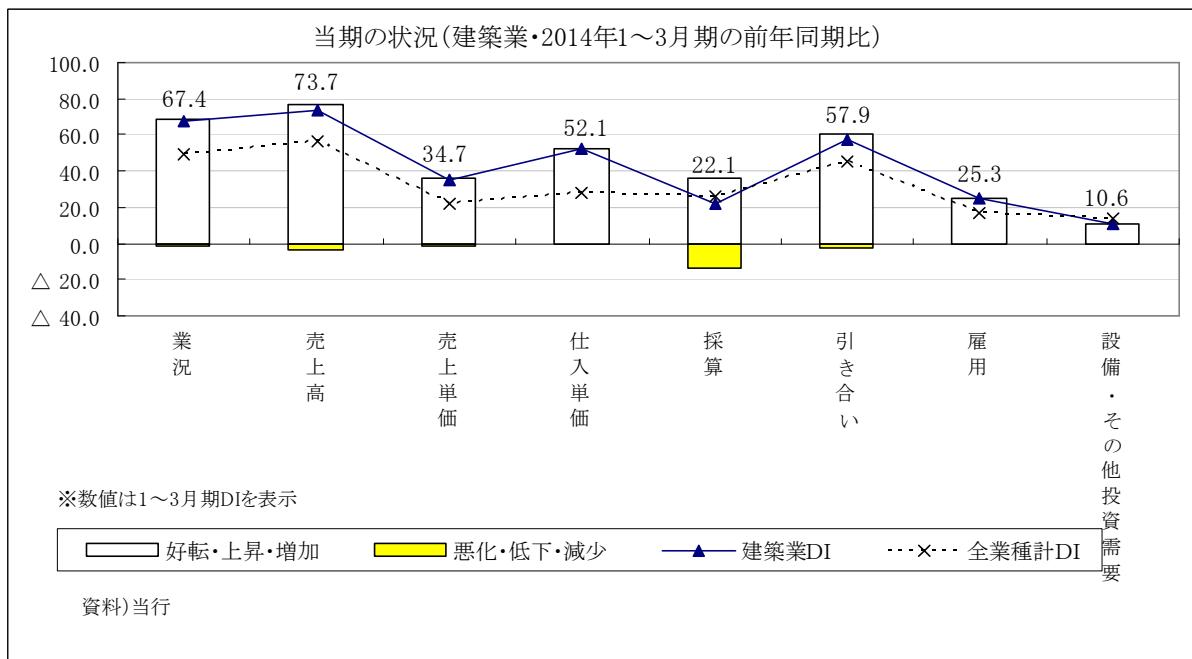
来期の見通し【土木業】DIをみると、引続き公共工事発注の増加を見込む事業者がみられ、売上高増加や引き合いの強さが期待されます。一方で、来期も資材等の仕入単価上昇により採算の悪化を懸念する事業者も一部でみられます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



#### 4. 建築業

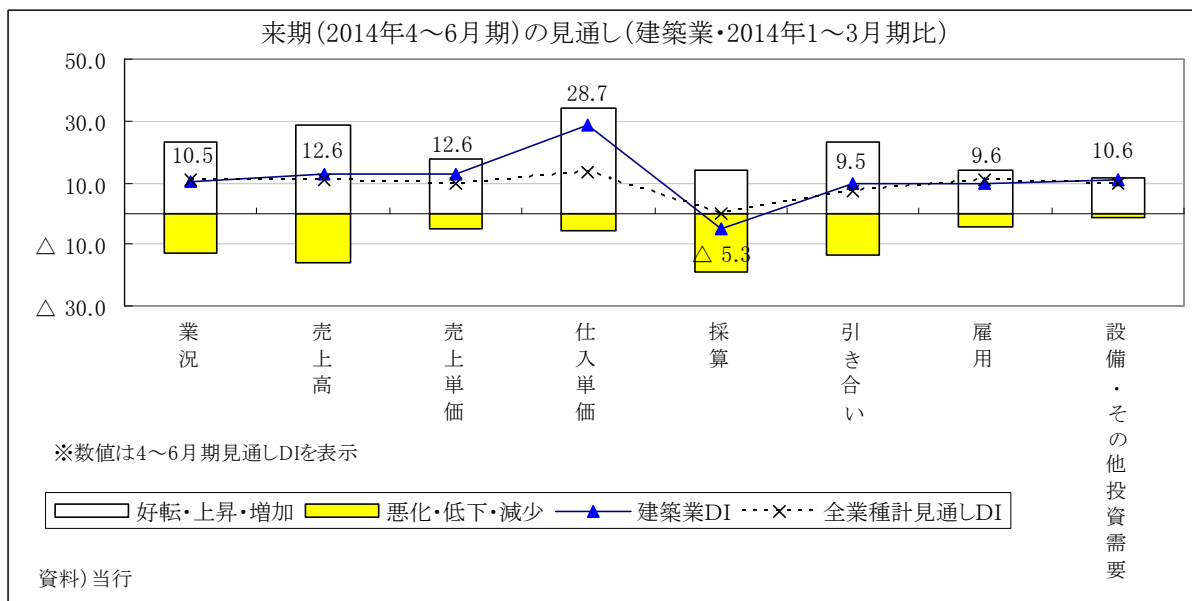
##### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【建築業】DIをみると、消費税増税を見越した住宅やアパート等の民間工事増加により、売上高は大幅に改善しています。また、公共工事の受注増加もみられ、引き合いは改善しています。一方で、資材価格高騰や人件費増加などにより採算が悪化している事業者も一部で見られます。建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



##### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

来期の見通し【建築業】DIをみると、今後も公共工事の受注増加などが見込まれ、売上高増加や引き合いの強さが期待されます。その一方で、消費税増税前の駆け込み需要の反動による民間工事の受注減少や、資材価格の高騰などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。建築全体として**業況改善の動き**がみられます。

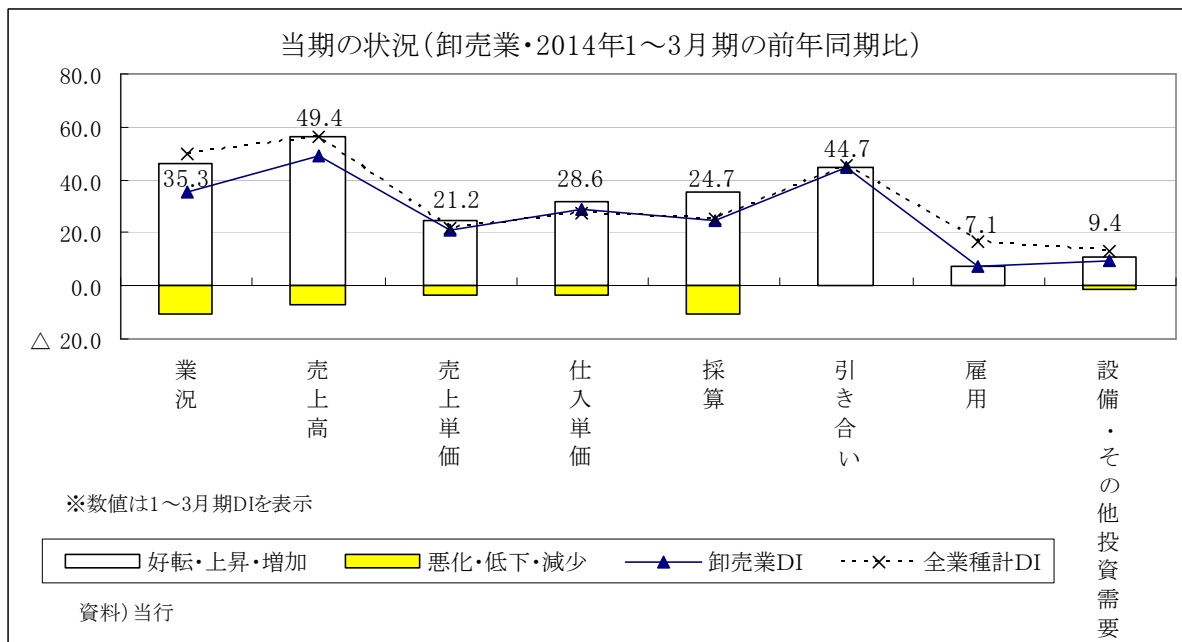




## 5. 卸売業

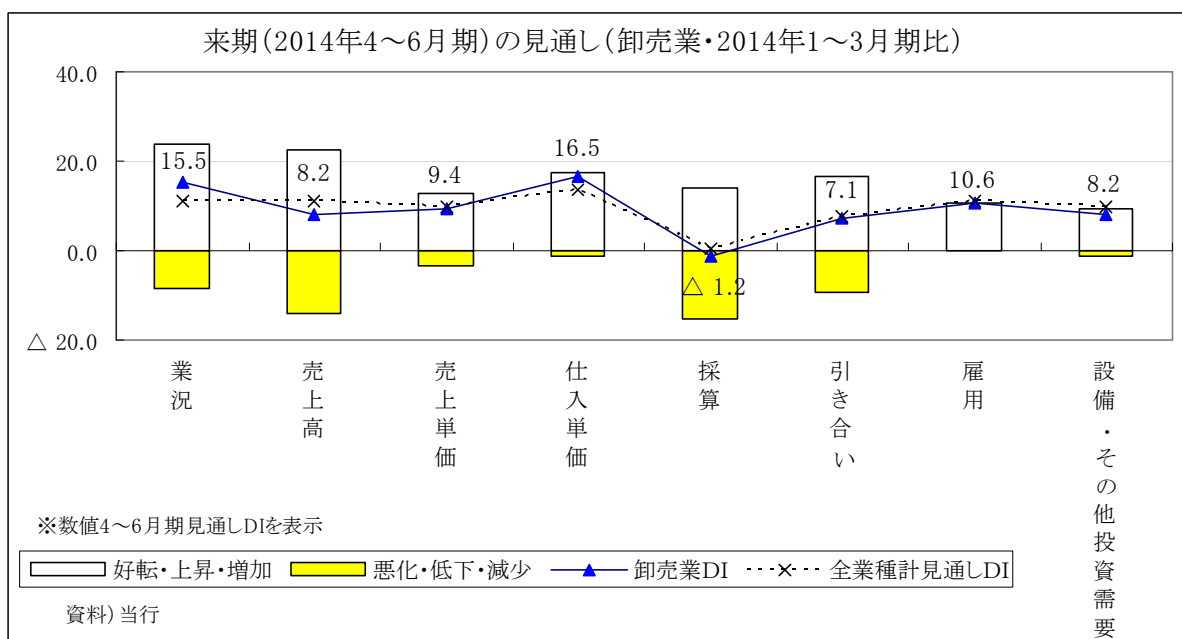
### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【卸売業】DI をみると、公共工事や民間工事の増加を背景に、建築資材関連などで売上高や引き合いが増加しています。また、一部の事業者(建築資材関連等)においては、消費税増税前に仕入れを増強する動きもみられます。卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

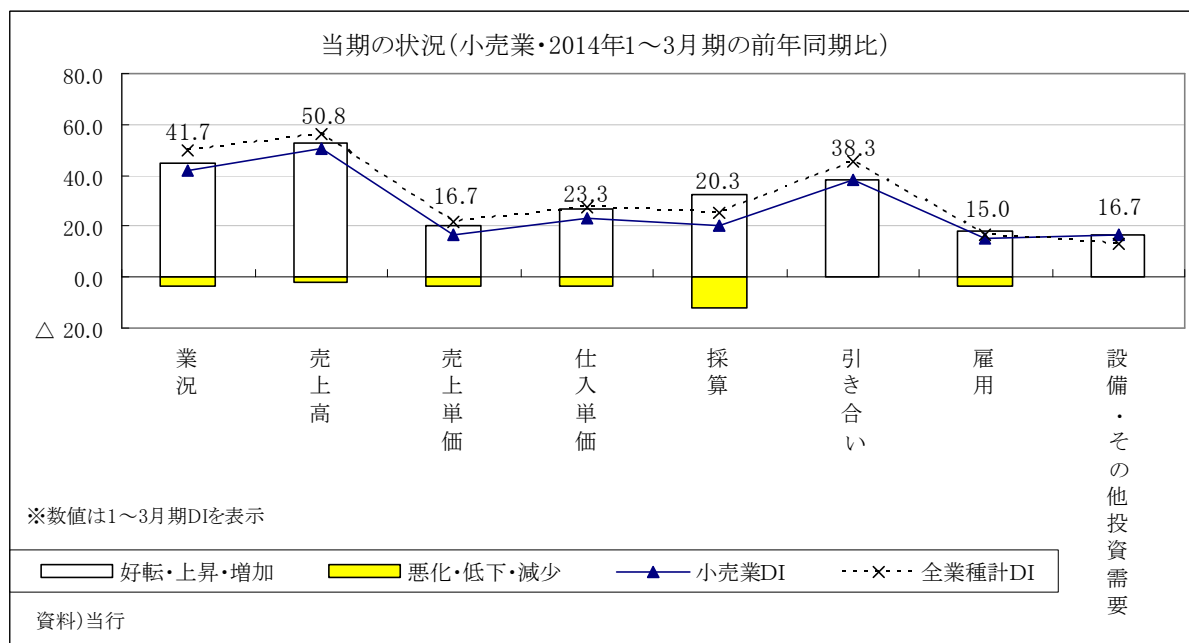
来期の見通し【卸売業】DI をみると、公共工事増加や観光客増加などにより建築資材関連や観光土産品、食品卸売等において売上高の増加が見込まれます。その一方で、消費税増税前の駆け込み需要の反動による売上高減少、採算悪化を懸念する事業者(家電、日用雑貨、タバコなど)もみられます。卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 6. 小売業

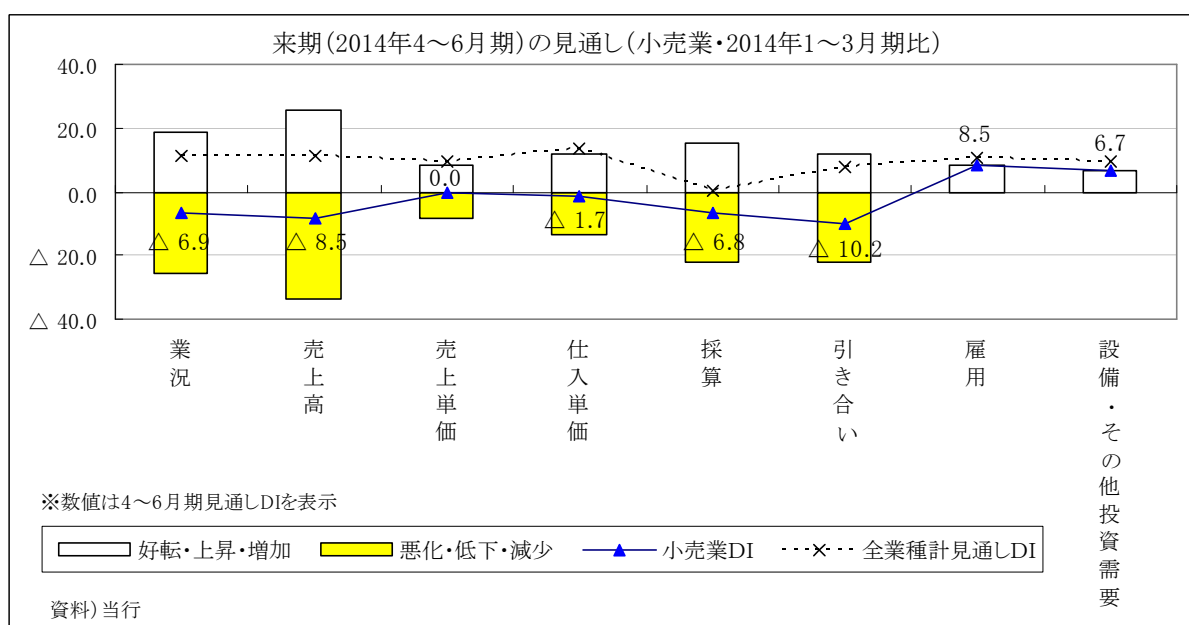
### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、自動車や家電、事務用品販売業などにおいて消費税増税前の駆け込み需要などにより売上高、引き合いが増加しています。また、太陽光パネルや金物販売などにおいても消費税増税前の駆け込み需要などによる引き合いの増加も見られます。小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

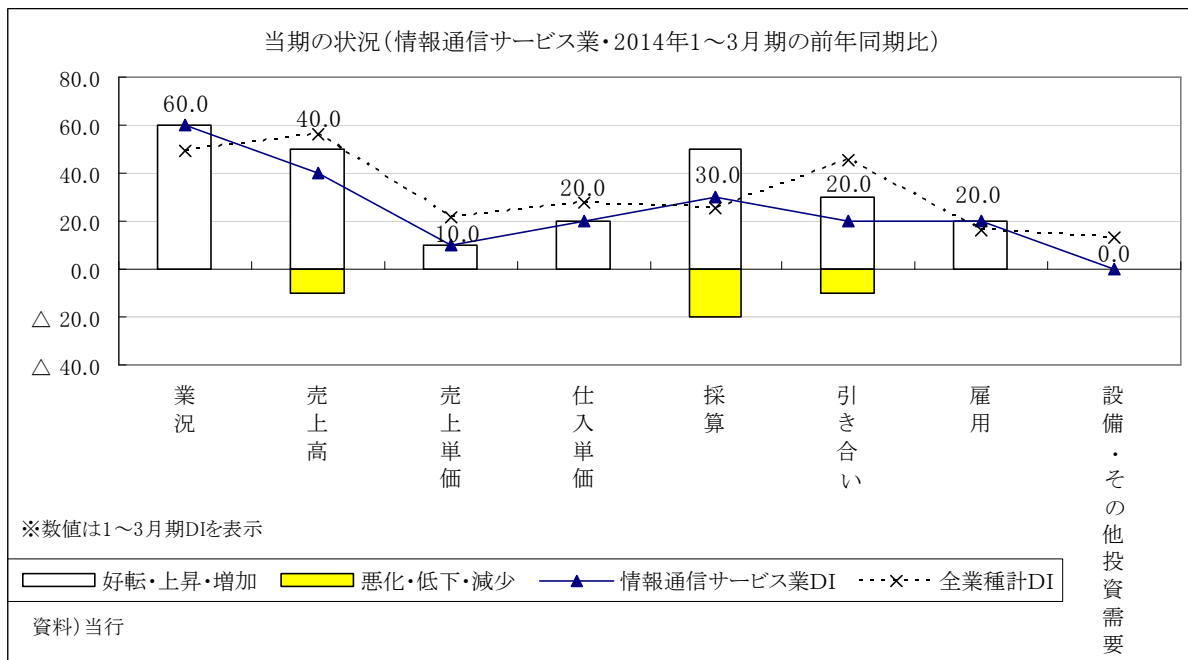
来期の見通し【小売業】DIをみると、自動車や家電販売業などにおいて消費税増税前の駆け込み需要の反動が予想され、売上高や引き合い、採算の悪化が見込まれます。また、衣料品販売などにおいては消費税増税後の消費マインド低迷を懸念する事業者も一部でみられ、小売業全体では**業況悪化の動き**がみられます。



## 7. 情報通信サービス業

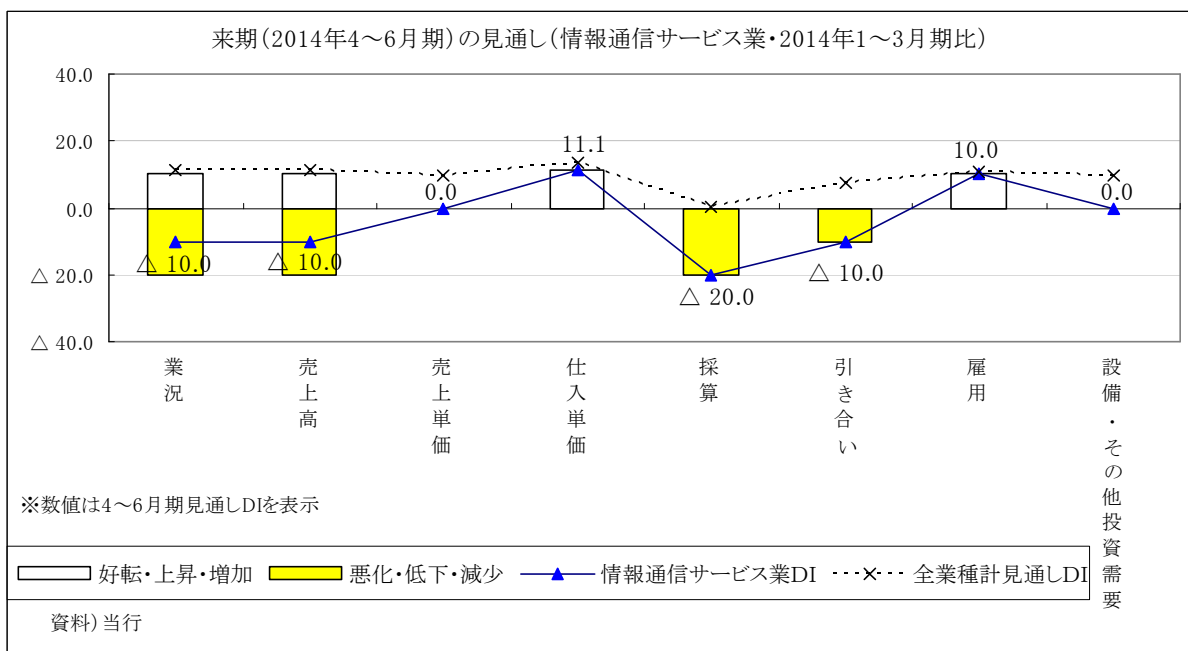
### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、コンピュータソフトやITシステム開発など投資活発化の動きがみられるほか、求人募集を中心に広告需要の増加も一部でみられ、売上高や採算、引き合いは改善しています。情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

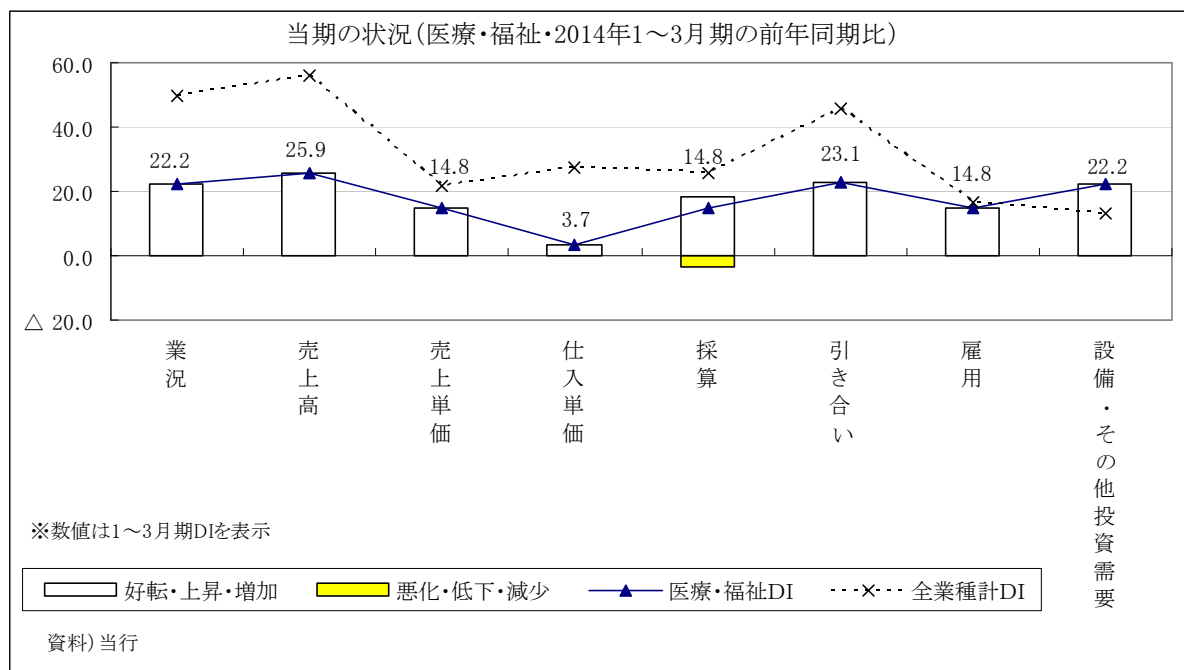
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、公共機関などにおいてシステム開発に関する投資が減少することが見込まれ、売上高、引き合いの減少が予想されます。情報通信サービス業全体として**業況悪化の動き**がみられます。



## 8. 医療・福祉

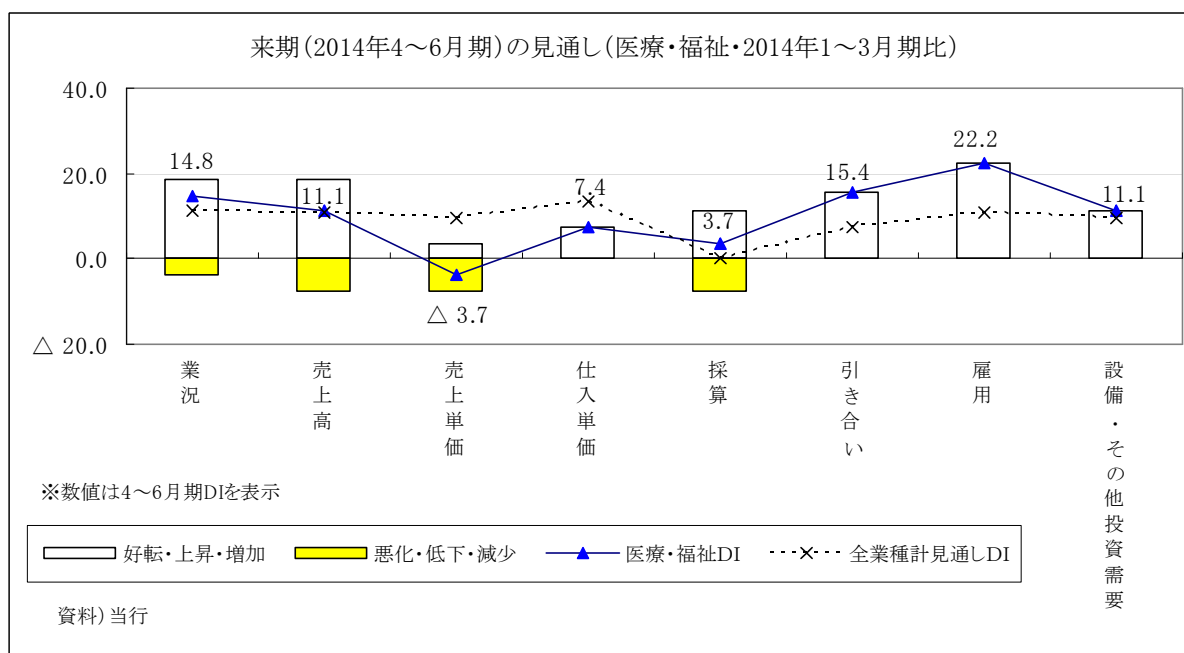
### a. 当期の状況 (2014年1～3月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引き続き堅調に推移しています。季節的要因（外来患者増加、インフルエンザ流行）により売上高や引き合いが改善しています。高齢者向け賃貸住宅の建築など投資需要は増加しており、全業種DIを上回っています。採算も改善しており、医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



### b. 来期の見通し (2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

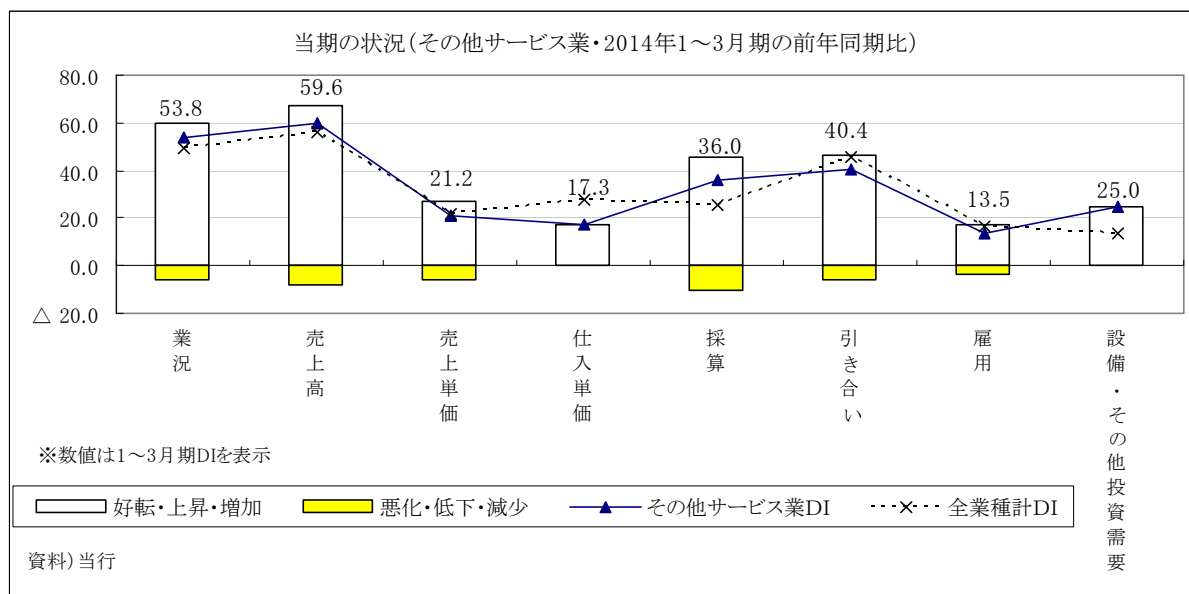
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、事業の拡大や医師の採用などにより顧客増加が予想されることから、売上高や雇用の増加、採算の改善が見込まれます。医療・福祉全体として引き続き**業況の堅調さ**がみられます。



## 9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

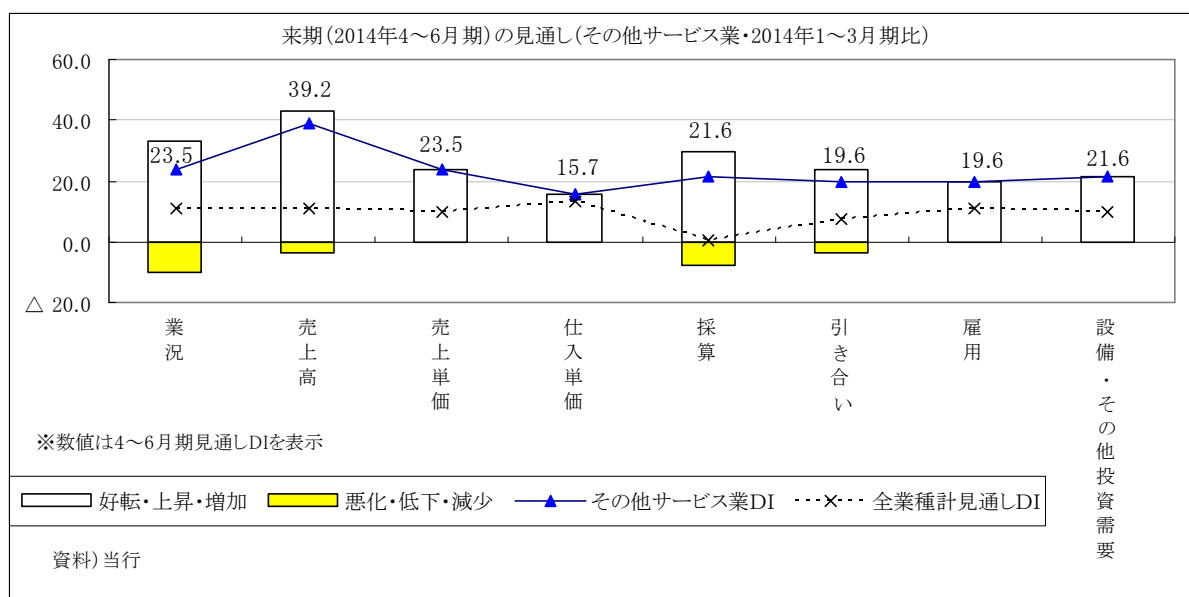
### a. 当期の状況(2014年1~3月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、観光需要増加などにより旅行代理店や宿泊業、飲食業などで売上高や引き合いの増加、採算の好転がみられます。外国客の増加により売上高が増加している事業者(ダイビング、宿泊、飲食)もあり、その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し(2014年4~6月期の2014年1~3月期比)

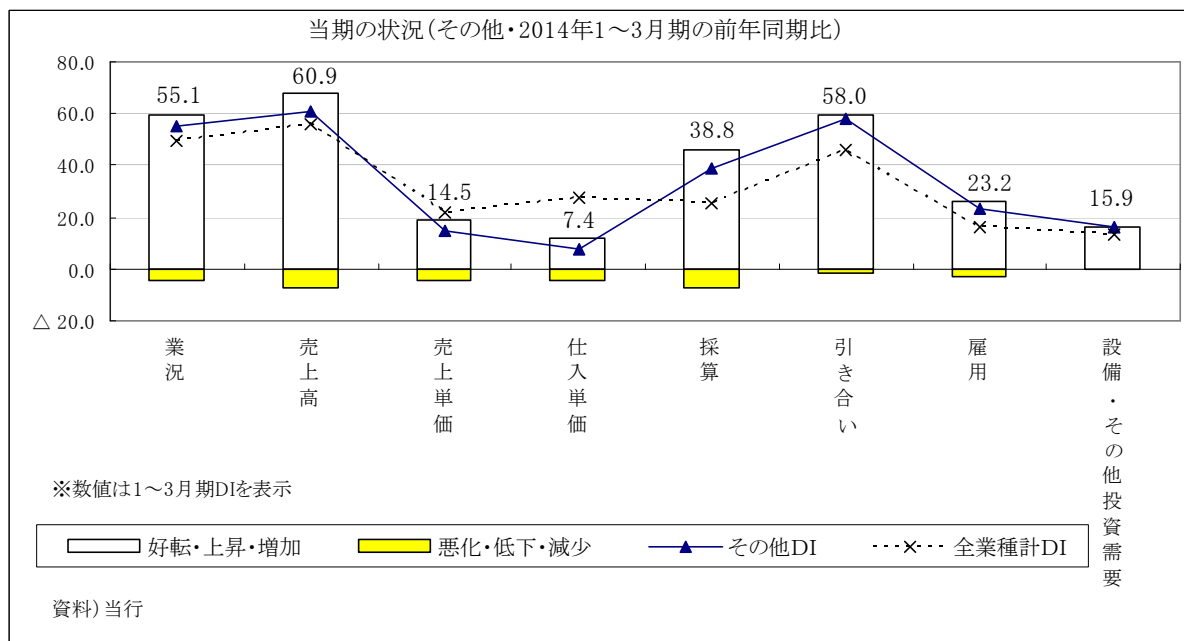
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、引き続き観光需要の増加を見込む声が多く、売上高の増加や採算の改善が見込まれます。また、飲食業の新店舗オープンなどの動きも一部でみられ、雇用や投資需要は全業種DIを上回っています。その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

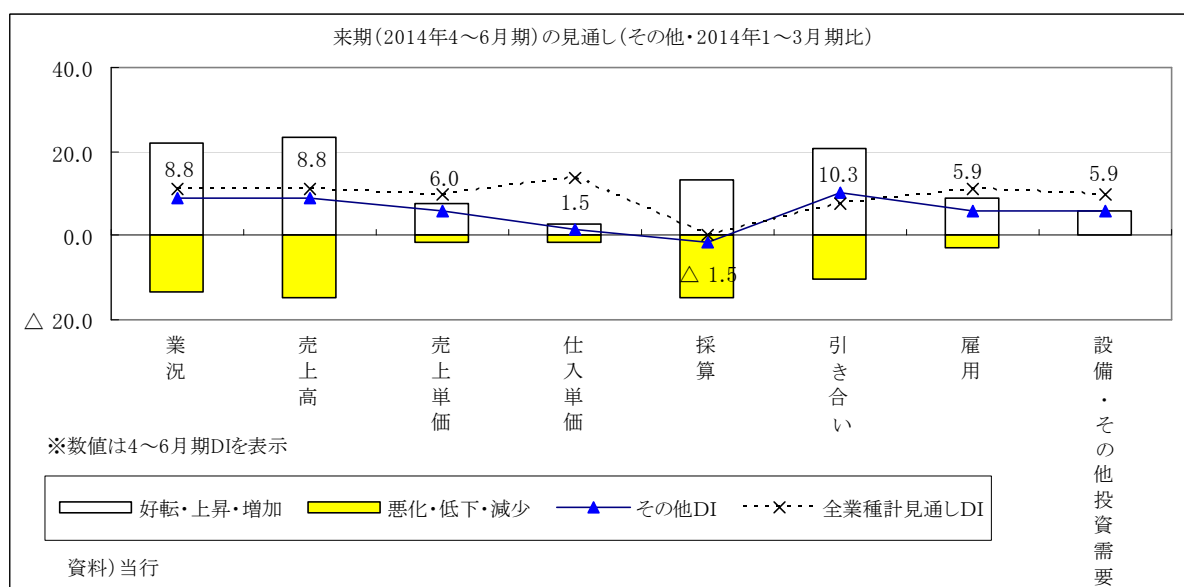
### a.当期の状況(2014年1~3月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、不動産業などにおいて、消費税増税に伴う駆け込み需要が見られます。また、公共・民間工事の増加などによる建設業界(建築業・土木業)の好調を受け、測量・設計業、リース業(重機等)においても需要が増加しており、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



### b.来期の見通し(2014年4~6月期の2014年1~3月期比)

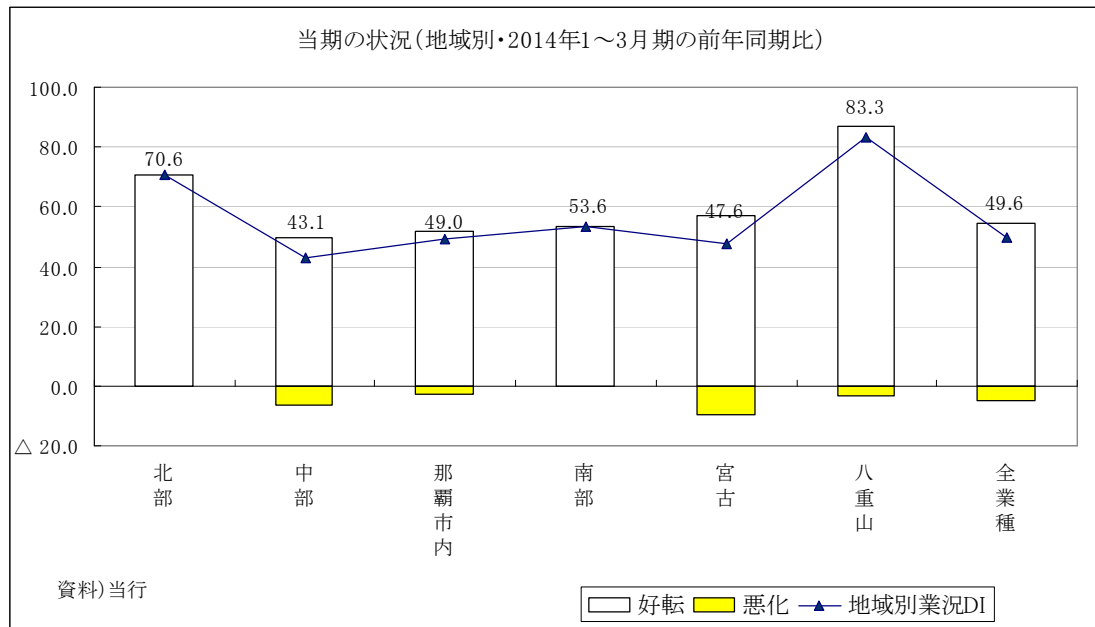
来期の見通し【その他】DIをみると、公共工事の増加により測量・設計業、リース業(重機等)において、引き続き引き合いの強さが見込まれます。また、ゴールデンウィーク等の季節的要因による観光客の増加が期待され、運輸業(バス、航空)において売上高の増加を見込む事業者も一部で見られます。その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

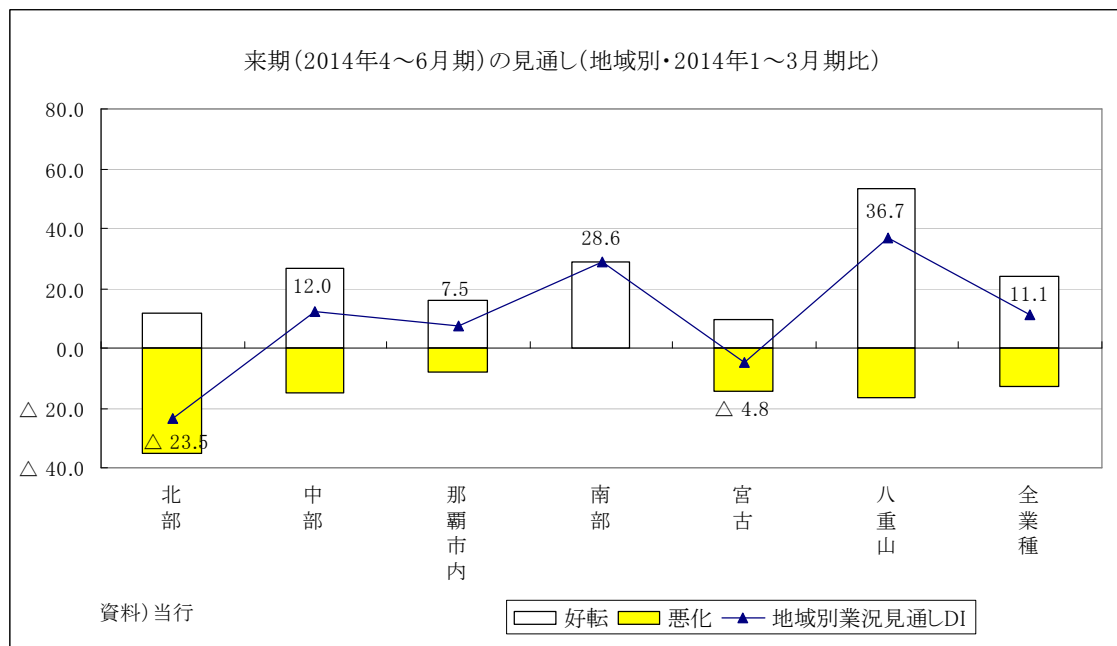
#### 1. 当期の状況(2014年1～3月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、消費税増税前の駆け込み需要や公共工事増加の影響により建築業、不動産業、測量・設計業などが好調で、全ての地域で業況改善の動きとなりました。八重山地区では、新石垣空港の開港効果も加わり、最も高い業況DI(83.3)となっています。



#### 2. 来期の見通し(2014年4～6月期の2014年1～3月期比)

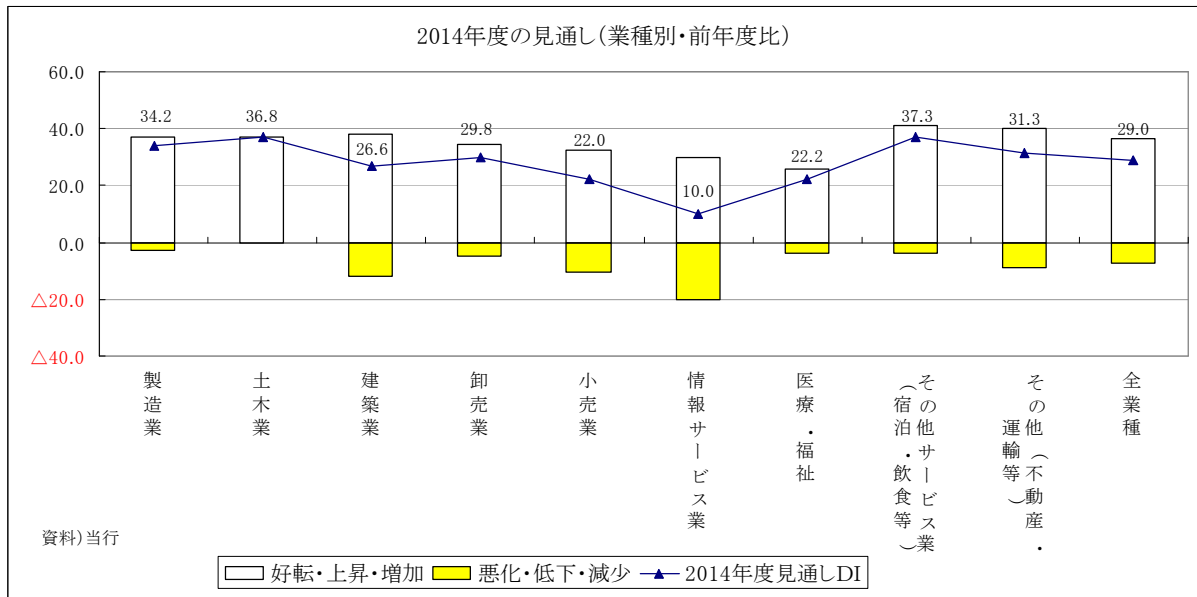
来期の業況見通しDIをみると、観光客の増加を見込む八重山地区が最も高い業況DI(36.7)となっています。一方で、多くの地域で小売業などにおいて消費税増税前の駆け込み需要の反動を懸念する声があるほか、北部や宮古地区では、増税後の民間工事減少により業況悪化を見込む建築業者もみられます。



#### IV. 調査結果(3) ～2014年度の見通しDI(2013年度比)～

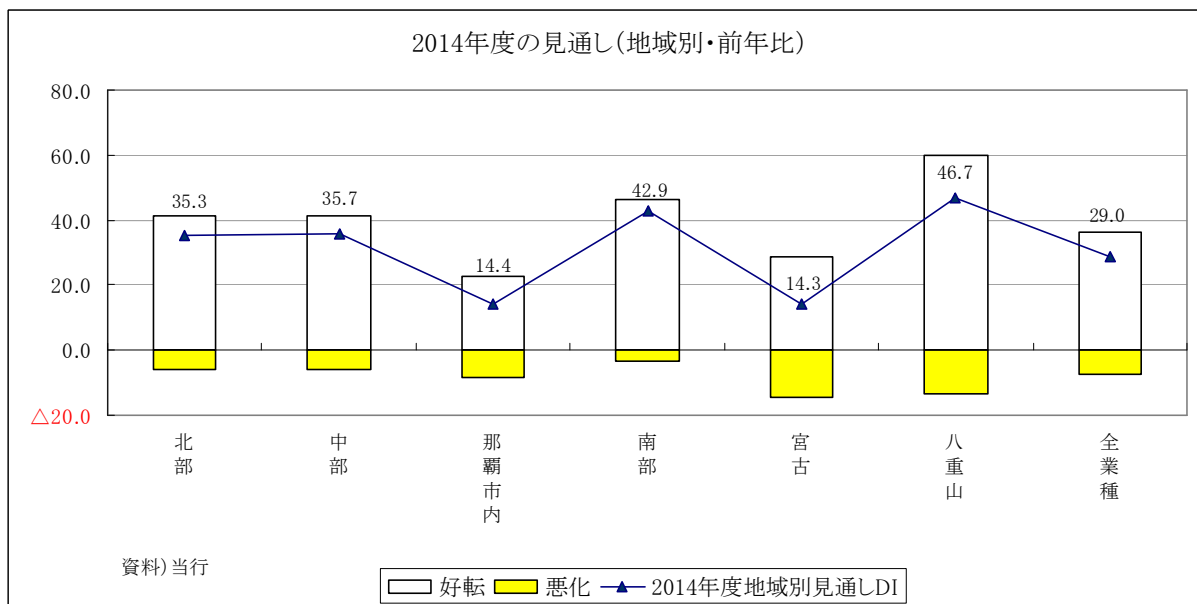
##### 1. 業種別見通し

2014年度見通しDIを見ると、「公共工事の増加」、「観光客数の増加」などのプラス要因により、全ての業種において2013年度と比較し業況改善の動きが見込まれています。消費税増税前の駆け込み需要の反動を懸念する声もみられますが、販売促進活動の強化や仕入ルートの見直しなどの対策を検討している事業者もみられ、年度全体では改善の動きとなる見込みとなっています。



##### 2. 地域別見通し

2014年度の地域別見通しは、本島及び離島の全ての地域で業況改善の動きがみられます。特に八重山地区では、新石垣空港の開港(平成25年3月7日開港)効果が続き、観光客増加や地域活性化が期待されており、サービス業、建設業など様々な業種で好転が見込まれています。





#### IV.まとめ

##### 【当期業況DI】

- ① 当期（2014年1～3月期）の業況DI調査の結果は、前年同期比で49.6ポイントと業況改善の動きとなりました。
- ② 観光関連（飲食業、宿泊業、旅行代理店業）では、入域観光客数が好調に推移（1月＝15.2%増、2月＝8.6%増：いずれも前年同月比）していることなどから売上高や引き合いが増加しており、全体として業況改善の動きがみられました。
- ③ 建設関連（土木業、建築業）では、公共工事の受注の増加に加えて、消費税増税前の駆け込み需要により住宅関連等の民間工事が増加傾向にあることから、業況は好転しています。また、不動産業や測量・設計業においても業況は好転しています。一方、土木業では、一部の事業者で資材価格高騰や人件費増加による採算の悪化もみられます。
- ④ 小売業では、自動車や家電、事務用品、金物販売業などにおいて消費税増税前の駆け込み需要がみられ、売上高や引き合いが増加しています。
- ⑤ 卸売業については、公共・民間工事の増加などにより建築資材関連で引き合いや売上高が増加しており、全体では業況改善の動きがみられました。また、一部の事業者（建築資材関連等）においては、消費税増税前に仕入れを強化する動きもみられます。

##### 【来期の見通しDI】

- ① 来期（2014年4～6月期）の見通しDIについては、11.1ポイントとなりました。当期（2014年1～3月期）より改善されることが期待されます。
- ② 観光関連では、引続き入域観光客数が堅調に推移することが期待されているほか、季節的要因（ゴールデンウィーク等）なども加わり、業況改善の動きとなることが予想されます。
- ③ 建設関連においては、引続き公共工事の受注増加が期待されています。一方で、消費税増税前の駆け込み需要の反動による民間工事の受注減少や、資材価格高騰などから、採算悪化を懸念する事業者もみられます。
- ④ 小売業では、自動車や家電販売業などにおいて消費税増税前の駆け込み需要の反動が予想され、売上高や引き合い、採算の悪化が見込まれます。また、衣料品販売などにおいても消費マインド低迷による引き合いの減少を懸念する事業者が一部でみられ、小売業全体では業況悪化の動きが見込まれます。

